

中学地理プリント (過去問類似)

世界の気候と文化

名前

得点

/9

問1 熱帯雨林気候における農業の仕組みについて、カカオなどの特定の農作物を輸出目的で大規模に栽培する農園形態を何といいますか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)

1. プランテーション 2. 混合農業 3. 地中海式農業 4. オアシス農業

問2 熱帯や亜熱帯の発展途上国において、欧米の資本や技術を取り入れ、茶やカカオ、天然ゴムなどの輸出を目的とした商品作物を大規模に栽培する農園を何といいますか。 (2020年 滋賀公立入試 類似)

1. プランテーション 2. スクラップ・アンド・ビルド 3. モノカルチャー経済 4. 適地適作

問3 低緯度地域に見られる気候のうち、一年を通して気温が高いものの、五月から九月にかけては月間降水量が二百ミリを超える一方で、十一月から三月にかけては雨が極端に少なくなるなど、雨季と乾季が明瞭に分かれる気候を何といいますか。 (2019年 静岡公立入試 類似)

1. サバナ気候 2. 熱帯雨林気候 3. 砂漠気候 4. 地中海性気候

問4 低緯度の赤道付近に位置しながらも、標高が高いアンデス山脈などの地域で見られる、年間を通じて気温が低く、月ごとの平均気温の差がほとんど見られない気候を何といいますか。 (2021年 京都公立入試 類似)

1. 高山気候 2. 熱帯雨林気候 3. ツンドラ気候 4. 地中海性気候

問5 ヨーロッパの南端や地中海の沿岸部で見られる、温帯に属する気候区の降水パターンの特徴として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 沖縄公立入試 類似)

1. 夏に乾燥し、冬に雨が降る 2. 夏に雨が多く降り、冬に乾燥する 3. 一年を通して降水量が一定で、乾燥する時期がない 4. 夏は多雨多湿であり、冬は寒冷で降水量が極端に少ない

問6 南アメリカのアンデス山脈などに見られる高山気候の地域では、低地とは異なる生活様式が見られます。この気候において、年間を通じて気温が一定に保たれる主な理由として適切なものはどれですか。 (2020年 岡山公立入試 類似)

1. 赤道に近い低緯度地域に位置するため、太陽から受けるエネルギーの季節変化が少ないから。 2. 広大な熱帯雨林に囲まれており、植物の蒸散作用によって気温が一定に制御されるから。 3. 年間を通じて寒流の影響を強く受け、海からの冷たい風が常に吹き込んでいるから。 4. 偏西風の影響により、一年中安定した湿った空気が供給され続けているから。

問7 東南アジアのインドネシアにおける食文化や社会生活について説明した文として、適切なものはどれですか。 (2020年 愛知公立入試 類似)

1. 米の栽培や香イスラム教の教えに基づき、日常生活において豚肉を食べることは避けられている。 2. ヒンドゥー教徒が多数を占めているため、聖なる動物とされる牛肉を食べることは禁忌とされている。 3. 仏教の影響が非常に強く、殺生を禁じる教えから肉類全般を一切口にしない習慣が定着している。 4. キリスト教の教えにより、特定の曜日には肉を一切食べずに魚介類のみを食べる習慣が厳格に守られている。

問8 熱帯地方で行われている焼畑農業において、数年間イモ類などの作物を栽培した後に、別の場所へ移動して同様の作業を繰り返す理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 鳥根公立入試 類似)

1. 燃やした草木の灰に含まれる肥料分が消費され、土地が痩せて収穫量が減少するため。 2. バナナやカカオなどの輸出用商品作物を大規模に栽培するために、より広大な土地が必要となるため。 3. 季節ごとの降水量の変化が激しく、雨季と乾季に合わせて灌漑施設がある場所へ移動する必要があるため。 4. 家畜の飼料となる牧草を確保するために、元の森林を永久的な放牧地へと転換し続ける必要があるため。

問9 ある統計資料において、年平均気温が17.8度、年降水量が1272.8mmであり、1月と12月の気温が約25度と高く、6月・7月の気温が約10度まで下がる都市の状況を説明したものとして、正しいものを選びなさい。 (2021年 福岡県公立入試 類似)

1. 南半球に位置し、日本などの北半球の国々とは季節が逆になっている。 2. 北半球の温帯に位置し、日本と同じような時期に夏と冬が訪れている。 3. 熱帯地方に位置し、一年中気温が高い状態が続いており、明らかな季節の変化がない。 4. 南半球の乾燥帯に位置し、気温の変化は激しいものの、年間を通じて雨がほとんど降らない。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 プランテーション	熱帯雨林気候のような特殊な気候条件を活かし、先進国の資本や技術と現地の安価な労働力を組み合わせ、特定の農産物を大規模に単一栽培する経営形態をプランテーションと呼びます。自給自足的な農業ではなく、世界市場への輸出を前提としたモノカルチャー経済の背景となっている場合が多いです。
問2	答え 1 プランテーション	発展途上国の熱帯地域などで、かつての宗主国である欧米諸国の資本や技術を利用して、特定の農産物を大量に生産する仕組みを指します。自給用ではなく、国際市場への輸出を目的としている点が大きな特徴です。
問3	答え 1 サバナ気候	赤道に近い低緯度地域では一年中気温が高くなりますが、降水量の変化によって気候が区別されます。一年中雨が多い熱帯雨林気候に対し、雨季と乾季がはっきりと分かれ、丈の長い草原に樹木が点在する景観が見られるのがこの気候の特徴です。設問にある数値の変化は、北半球におけるこの気候の典型的な特徴を示しています。
問4	答え 1 高山気候	標高が高くなると、100mにつき気温が約0.6度下がるため、低緯度の暑い地域であっても標高が高い場所では一年中涼しい気候になります。また、低緯度地帯は季節による太陽高度の変化が小さいため、月ごとの平均気温の差（年較差）が非常に小さくなるのが大きな特徴です。アンデス山脈のクスコや、エチオピア高原のアディスアベバなどがその代表例です。
問5	答え 1 夏に乾燥し、冬に雨が降る	地中海沿岸で見られる地中海性気候は、温帯の中でも特異な降水パターンを持っています。夏季は亜熱帯高圧帯の影響下に入るため、乾燥して日差しが強くなります。一方で、冬季は偏西風の影響や前線の活動が活発になるため、雨が多く降ります。日本の多くの地域に見られる「夏に雨が多く、冬に乾燥する」というパターンとは逆になる点が大きな特徴です。
問6	答え 1 赤道に近い低緯度地域に位置するため、太陽から受けるエネルギーの季節変化が少ないから。	高山気候において「気温が低い」理由は標高が高いことにありますが、「気温が一定（年較差が小さい）」である理由は、その地点が低緯度に位置していることにあります。低緯度地域は一年を通じて太陽の南中高度が高く、日照時間の変化も少ないため、特定の季節に気温が大きく上下することがありません。このため、高地では「年中涼しい」という特有の状態が生まれます。
問7	答え 1 米の栽培や香イスラム教の教えに基づき、日常生活において豚肉を食べることは避けられている。	インドネシアは、豊かな降水量を利用した米の栽培が盛んであり、香辛料の産地としても知られていますが、文化的な最大の特徴は人口の約9割がイスラム教徒であることです。イスラム教には「ハラール（許されたもの）」という概念があり、豚肉を食べることは宗教的な禁忌（タブー）とされています。そのため、地域社会の食習慣は宗教的な規範と密接に結びついています。
問8	答え 1 燃やした草木の灰に含まれる肥料分が消費され、土地が痩せて収穫量が減少するため。	焼畑農業は、化学肥料を用いずに灰の養分だけに頼る農法であるため、栽培を続けるとすぐに土壌の肥沃度が低下します。そのため、収穫量が落ちた段階で別の未開墾地へ移動し、元の土地は数十年かけて森林が再生するのを待つという仕組みになっています。近年では人口増加により、この回復サイクルが短くなっていることが環境上の課題となっています。
問9	答え 1 南半球に位置し、日本などの北半球の国々とは季節が逆になっている。	気温の変化に注目すると、1月・12月に気温が高く、6月・7月に気温が低くなっていることから、この都市は南半球にあることがわかります。北半球とは季節が逆転しているため、日本の冬の時期に夏を迎え、日本の夏の時期に冬を迎えています。また、年降水量が1200mmを超え、気温にも季節変化があることから、乾燥帯や熱帯ではなく、温帯の気候に属していると判断できます。